

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

議題 第4次さっぽろ子ども未来プラン令和2年度の実施状況報告

(1) 質問及び市担当部からの回答

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
1	正岡 経子	資料 4-1 (P6)	子育てをしていて感じる悩み	「子育てをしていて感じる悩み」の図において、「全体」と「大変さの方が多い」の2群比較の意味がよくわかりません。「全体」の中に「大変さの方が多い」対象者が包含している様にも受け取れます。「大変さの方が多い」と「楽しさの方が多い」の2群比較の方が、それぞれの特徴がより明確になるのではないのでしょうか。	ご指摘の通り、「全体」に「大変さの方が多い」の方も含めて記載しています。「大変さの方が多い」と「楽しさの方が多い」の比較につきましては、別添のような結果になりますので、皆様に共有させていただきます。	子ども未来局子ども育成部
2	齋藤 優希	資料 4-1 (P10) 資料 4-2 (P48-51)	・No. 136 「子ども医療費助成の拡充」 ・No. 139 「児童手当の支給」	通院の助成対象を今年度から小学校6年生まで拡充されたことは子育て世帯にとって大変良い改新です。 しかしながら、現在札幌市ではその年齢である全ての子どもが医療費助成対象になるのではなく、受給者の生計費を主として維持する方の所得の制限があります。 また、児童手当についても所得制限で減額をされます。	児童手当は「父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的」(※1)としております。 そのため、同法で高額所得者(※2)として定めた主たる生計維持者の方につきましては、児童手当は支給されず、特例として、1人あたり月5,000円の「特例給付」	保健福祉局 保健医療部、子ども未来局子育て支援部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
				「子どもを生み育てやすい環境づくり」という目標を掲げている上で、なぜ所得制限を設けているのでしょうか。	が支給されております。 (※1) 児童手当法 第一条より。 (※2) 特例給付となる目安：児童2人と年収103万円以下の配偶者の方がいらっしゃるご家庭で960.0万円以上の方が対象となります。	
3	齋藤 優希	資料4-1 (P12)	父親の子育てに関する意識改革・啓発等の取組	「成果指標の達成状況」4つ目の中点にある「父親の子育てに関する意識改革・啓発等の取組」とありますが、具体的にはどのようなことを実施なさっていますか。	さっぽろ子育て情報サイトにおいて父親のライフスタイルやスキルに合わせて、子どもに積極的に関わることの重要性や意義を啓発する「父親による子育て推進事業『サツパパ』」を令和2年度からスタートしました。	子ども未来局子育て支援部
4	正岡 経子	資料4-1 (P12)	母親の就労状況	「母親の就労状況」の図において、H25, H30, R2の数値を比較して示しています。この図に関して2点質問です。 【1点目】 R2年度のデータ数が、他の年度と比較しかなり少ない理由は何でしょうか。 【2点目】 ☆子育てに関するアンケート調査は、R2年度から実施され、調査対象者	【1点目】 H25年度、H30年度の数値は、資料4-1(P3)「☆3 ニーズ調査」(15,000世帯へ送付)の結果を記載しているため、R2年度(3,000世帯へ送付)のデータ数が少なくなっております。 図の説明書きが不足しており申し訳ございません。 【2点目】 H25年度、H30年度、R2年度いずれの調査	子ども未来局子ども育成部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
				は、0～5歳の子どものいる世帯と記載されております。H25年度およびH30年度の調査対象者は、R2年度の調査結果と比較可能な同質集団とみなして良いのでしょうか。	も「0～5歳の子どもがいる世帯（保護者）」であるため、データ数は異なりますが、比較可能な同質集団とみなしております。	
5	箭原 恭子	資料 4-1 (P14)、 資料 4-2 (P58～ 59)	No. 164「教育の情報化推進事業」	「GIGA スクール構想に基づき全児童生徒1人1台の端末を整備した。」とあるが、端末の扱いはどのようになっているのでしょうか？持ち帰りはどのくらい進んでいるのでしょうか？その場合通信環境についての配慮はどこまでされているのでしょうか。	本市では、昨年度末までに全市立小中学校の児童生徒計約13万人にタブレット端末を整備し、学校の授業等での活用が進んでおります。また、学級閉鎖等の非常時の端末持ち帰りは既の実施しており、通信料は基本的に家庭での負担となりますが、インターネット環境のない家庭へは、モバイルルータを貸与するなど、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を整備しています。平常時の端末持ち帰りについては、本年9月から、授業と家庭学習の接続を図ることや、学習生活習慣づくり等を目的として、学校の判断によって可能としています。また、今後の感染拡大に備え、各学校では10月末までに端末の家庭への持ち帰りによる接続テスト等を実施します。	教育委員会 生涯学習部、学校教育部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
6	箭原 恭子	資料 4-1 (P15)	成果指標 「近所や地 域とのつな がりがある 子どもの割 合」	どのように地域に子どもの居場所や つながりを作っていくつもりなのでし ょうか。	子ども食堂等子どもの居場所づくり活動 を行っている団体への補助金などにより、 居場所づくり活動を後押しし、子どもが地 域とつながることができるよう、努めてま いります。	子ども未来 局子ども育 成部
7	豊田 直美	資料 4-1 (P17)、 資料 4-2 (P20)	No. 50「子 どものくらし支援コー ディネート 事業」	子どもについての困りごとは、子ど もだけにはとどまらず、子育て家庭が 抱える問題に起因します。つまり関わ る行政の部所も重複することとなりま す。それぞれの支援を受けていても、 それをコーディネートする人が必要と 感じる事例がありました。 子どもについて行政の様々な支援を 受けている母から子どもの預け先の相 談があり、家庭単位で総合的に考えて あげる人の必要性を感じて、子どもの くらし支援コーディネーターに相談し て結びました。その後、コーディネ ーターが支援先と関わりながら家庭の支 援が進行しています。 そこで、こどものくらし支援コーデ	子どものくらし支援コーディネート事業 においては、子どもコーディネーターは、 子ども・家庭が抱える複合的な問題を幅広く 扱い、子どもの問題だけにはとどまら ず、家族全体の問題として総合的にとら え、他機関と役割分担、連携しながら、支 援しております。 現時点で具体的な人員増加の計画はご ざいませんが、ご指摘の点も踏まえ、今後 の事業のあり方について随時検討していく 必要があると考えております。 また、広報につきましては、子どもコ ーディネーターの役割をより周知できるよ う、子どもの居場所の巡回を精力的に行う とともに、関連する機関にコーディネ ーターとの連携の依頼を行っております。	子ども未来 局子ども育 成部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
				<p>イネーター事業の内容を確認すると、「子どもの居場所を巡回して～」とありますが、総合的に子育て家庭のコーディネーターとしての役割を担っていると理解していますが、正しいでしょうか。</p> <p>とても必要とされる良い事業だと思いますので、是非早急に人員を増やしてほしいです。今後の人員増加の計画と広報の方法を教えてください。そして、件数が少なくても1件の内容が濃く時間を要する事業だと思いますので、成果に件数が左右されないことも必要と考えます。</p>		
8	伊藤 紘子	資料4-2 (P22～ 23)	・No.54 「産後ケア 事業」・ No.53「初 妊婦訪問事 業」	<p>事業No.54「産後ケア事業」の活動指標が、初妊婦訪問事業実施率となっており、上段No.53「初妊婦訪問事業」の活動指標と同じ内容であることと、当初値、2020年度実績及び目標値について全て上段と同値になっております。当該事業の対象は、初妊婦のみではないと思われませんが、いかがでしょうか。</p>	<p>「産後ケア事業」「初妊婦訪問事業」は、妊娠・出産包括支援事業として位置づけられていることから、同じ活動指標を設定しております。「産後ケア事業」単体の成果指標は設定していないことから、成果指標、当初値、2020年度実績、目標値につきましては削除させていただきます。</p> <p>※子ども・子育て会議委員の皆様からのご意見を記載した上で今後公表する「第4次</p>	保健福祉局 保健所

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
					さっぽろ子ども未来プラン令和2年度実施状況報告書」において、修正を反映いたします。	
9	林 亜紀子	資料 4-2 (P60～ 61)	No. 171 「民間児童育成会への支援事業」	活動指標が「法人化している民間児童育成会の全体に占める割合」となっていますが、民間児童育成会の法人化率が上がることが目標とされているのでしょうか。それはどういう理由からでしょうか。	助成金を交付している運営団体が法人化することで体制基盤を強化し安定的に運営をしていくという理由から指標として設定しています。	子ども未来局子ども育成部
10	林 亜紀子	資料 4-2 (P60～ 61)	No. 172 「児童会館・ミニ児童会館事業」	「放課後子ども教室」を、2020年度では204か所で実施した、とありますが、本市の放課後子ども教室は、3か所（コッポンオリ、西こども館ピース、とよたきこども館）ではないのでしょうか。	「放課後子ども教室」については、国の方針により、「放課後児童クラブ」と一体的に実施することが求められていることを踏まえ、札幌市においては、公設の児童会館・ミニ児童会館においても、放課後子ども教室と児童クラブを一体的に実施しており、その数が200か所となっています。 児童会館・ミニ児童会館以外では、委員ご指摘の3か所に加え、2020年度までは「石山東放課後子ども館」にて放課後子ども教室を実施していたことから、児童会館・ミニ児童会館での実施分と合わせて、	子ども未来局子ども育成部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
					2020年度の実施カ所数は204か所となります。	
11	林 亜紀子	資料4-2 (P62～ 63)	No.175「児童クラブにおける昼食提供」	2022年度全館で実施が目標となっています。具体的にどのように、夏冬春の長期休み全てに全館で取り込まれるのでしょうか。どのような提供方法でしょうか。無償で行われるのでしょうか。	令和3年度冬休みに20館を対象に試行実施を行う予定です。試行実施については、利用希望者に実費負担（1食あたり350円の負担）で昼食を提供する内容となっていますが、来年度以降については試行実施の結果を踏まえ課題を整理したうえで、実施方法等を検討していく予定です。	子ども未来局子ども育成部
12	林 亜紀子	資料4-2 (P66～ 67)	No.189「児童会館の地域交流の推進」	児童会館2館に配置される「コーディネーター」は、No.50「子どものくらし支援コーディネート事業」やNo.190「子どもの居場所づくり支援事業」と同義でしょうか。2館に配置されるコーディネーターは、常勤専任でしょうか。	児童会館2館に配置される「コーディネーター」は、No.50「子どものくらし支援コーディネート事業」やNo.190「子どもの居場所づくり支援事業」とは異なるもので、児童を中心とした多世代交流や地域との連携を推進することなどを役割として配置しています。配置されている館の業務として、常勤職員が他の業務との兼任で役割を担っています。	子ども未来局子ども育成部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	回答	担当部
13	齋藤 優希	資料 4-1、 4-2 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・さっぽろ子育てきずなメール ・さっぽろ子育てアプリ 	<p>「さっぽろ子育てきずなメール」はどこで宣伝されていたのでしょうか。</p> <p>また「さっぽろ子育てアプリ」自体も、現在地域の子育てサロンが閉鎖されていることもあり、新規の保護者にどのようにして周知をされていますか。</p>	<p>「さっぽろ子育てきずなメール」については、さっぽろ子育て情報サイトでの情報掲載、さっぽろ子育てアプリでのプッシュ通知、広報さっぽろへの掲載、チラシの発行、札幌市公式 Twitter にて情報発信を行っています。</p> <p>また、「さっぽろ子育てアプリ」については、チラシの発行、ポスターの掲示（関係施設、地下鉄駅の掲示板）、札幌市公式 Twitter のほか、母子健康手帳や子育てガイドに二次元コードを掲載し周知を行っております。</p>	子ども未来局子育て支援部

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

(2) 意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
1	深澤梨恵	資料 4-1 (P3)	子育てに関するアンケート調査の調査方法	<p>子育て世代へのアンケートに関してアンケートが誰から渡されるかによって、回答率のUPを図れないか。また、無作為にアンケートを郵送するだけでなく、現在・保育園、幼稚園などを利用している子育て世代へ、〈園から手渡し〉にてアンケートをしてもらうことはできないだろうか。</p> <p>背景として、コロナ禍になり、園とのコミュニケーションも薄くなっている状況（園と親との話し合い（相談）の減少）もあり、子育て世代が想っていることを、〈園にも行政にも〉伝える機会をつくる必要性を感じる。</p>	<p>第4次さっぽろ子ども未来プラン策定時には、無作為に対象者を抽出したアンケート調査のほか、保護者、子育て支援関連施設の職員や市民活動団体関係者へのグループヒアリングを実施し、生の声を把握するよう努めております。</p> <p>（子ども未来局子ども育成部）</p>
2	伊藤 絃子	資料 4-1 (P6～7)	成果指標「子どもを生き育てやすい環境だと思ふ人の割合」	<p>子どもを生き育てやすい環境だと思ふ人の割合が依然として低い傾向にある点に関して、「子育てをされていて感じる悩み」(P6)は重要な質問項目であります。さらにこの傾向の要因を明らかにするためには、選択肢の項目を掘り下げ、より具体化した設定が必要ではないかと考えます。</p> <p>しかし、全項目を詳細に追及していくことは難しいかと思っておりますので、第一段階として「悩みを解決するための行動（相談する、あるいは調べる等）をとったかどうかの割合」がわかると、悩みの程度を把握することができるのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、子どもを生き育てやすい環境だと思ふ人の割合が低い現状について、要因を分析する必要があることから、より実態が把握できるよう、アンケート調査項目について、検討してまいります。</p> <p>（子ども未来局子ども育成部）</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
3	齋藤優希	資料 4-1 (P10) 資料 4-2 (P48～ 51)	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 136 「子ども 医療費助 成の拡 充」 ・No. 139 「児童手 当の支 給」 	<p>所得制限の対象となる家庭＝経済的に非常に余裕のある家庭というほどの限度額設定では無い為、むしろそのような家庭は、例えば、父親の仕事は所得に見合うために非常に忙しく家を空けがちで、母親は常にワンオペで家事育児をこなしているというパターンが少なくありません。そのうえで医療費助成の対象から外れたり、子ども手当が大きく減額されたりする現状は、子育てをしやすい環境であるかという問いに対して不満を抱く大きな原因となっています。少子化も進んでいるため、ぜひ改善を望んでいます。</p>	
4	豊田 直 美	資料 4-1 (P10)	基本目標 2「安心 して子ど もを生み 育てられ る環境の 充実」	<p>出産後病院から自宅へ戻り、1～2ヶ月位に子育てへの不安から支援を求める方が多くいます。祖父母は働いていたり、高齢、遠方などでお産扱いしてくれる方がいない状況で、夫婦だけでの子育てには限界があります。夫の仕事量が現状のままでの負担については夫のうつが増加していることから分かります。本来産褥期は出産のダメージから身体も心も回復に要する期間です。ここにさらに何らかの行政の支援が必要と思います。例1) 退院後、希望者は数日間宿泊して、赤ちゃんの世話を習い、その後の相談も可能になる場所の設置（無料）。どんな環境の人も安心して子どもを産むことができ、また、心が安定すると虐待や産後うつの減少にもなると思います、そこに地域の支援者が参加すると子育てを地域で行うことを伝えることも可能です。例2) 出産時に託児無料券を配布する。無料なこ</p>	<p>地域に頼れる人がいることを知るきっかけとなる札幌市ファミリー・サポート・センター事業の利便性の向上に努めてまいります。</p> <p>(子ども未来局子育て支援部)</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
				とで、母親がいるのに預けることをよしとしない家族の理解を得ることができ、頼れる人が地域にいることを知ってもらえ、SOSが発信しやすくなると思います。以上が今後は是非検討していただきたい支援です。	
5	齋藤優希	資料4-1 (P12)	父親の子育てに関する意識改革・啓発等の取組	<p>さっぽろ子育てアプリをインストールしている方や、札幌市の子育て関連のことを自ら検索しているなど、父親（プレパパ含め）の中でも積極的に子育て関連知識を得たいと思っている人にしか、情報が届いていないのでは無いかと懸念しています。そのため例えば、母子手帳交付での説明時などに、父親に向けての必要情報を詰めこんだ書面を1枚用意して渡してもらうなど、入口を作る方法があったら良いと思われます。</p> <p>また、父親という実感はすぐに湧くものでは無いと聞くことも多いため、そもそも小学生や中学生など子どものうちから「父親の子育て」に関する意識改革・啓発をすることが大事なのでは無いかと考えます。</p>	<p>本市では、学校と家庭とが一体となって子どもたちの「学ぶ力」を育成することを目指した「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」を推進するなど、様々な取組を進めております。</p> <p>今後も、家庭における「父親の子育て」に関することも含めて検討を進めるなど、家庭における教育力の更なる向上を図ってまいります。</p> <p>また、さっぽろ子育て情報サイトやアプリ以外でも、効果的な啓発に取組んでまいります。</p> <p>(子ども未来局子育て支援部、教育委員会学校教育部)</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
6	川俣 智 路	資料 4-1 (P14) 資料 4-2 (P58～ 59)	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 164 「教育の 情報化推 進事業」 ・ 次代を 担う若者 への支援 体制の充 実 	<p>教育の情報化推進事業として1人1台端末について言及されているが、この端末を新型コロナウイルス感染症の影響による学校の欠席等の状況にある子どもの支援のために、より積極的に活用していくことを希望したい。</p> <p>また、基本施策4の若者への支援体制においても、不登校になる前、また人とのつながりがなくなる前に様々な方法で支援につながることを望ましいため、今後積極的にテクノロジーを活用した支援が実施されることに期待したい。</p>	<p>本市では、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業時に、オンラインを活用した学習指導を行っているほか、コロナ不安で学校に登校できない児童生徒に対しても、オンラインの活用を含めた個別の学習サポートを行うなど、様々な場面でタブレット端末を活用しております。</p> <p>今後も、ICT環境の整備等を通して、多様な子どもたち一人一人の学びを保障できる環境の整備を進めてまいります。</p> <p>(教育委員会生涯学習部、学校教育部)</p>
7	箭原 恭 子	資料 4-1 (P14) 資料 4-2 (P58～ 59)	No. 164 「教育の 情報化推 進事業」	<p>IT教育は使って慣れてで、初めて次の段階に入ります。質問でのお答えによりますが、ここをクリアしないといつまでたってもリモート学習が進まないことになりませんか。地域に子どもたちの居場所やつながりを求めるといって、はやりのように子ども食堂があがってきます。IT教育が諸外国に立ち遅れているのも、通信環境や端末の金額が高いのも一因ではないでしょうか。1人1台が割り当てられても、気軽に使えなければ教材</p>	<p>4月から1人1台端末の活用が始まり、授業や様々な教育活動における活用を進めており、現在では多くの学校で端末活用が日常化してきました。活用の様子は、各学校のホームページでも発信されております。今後も、活用事例を全市で共有する</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
				<p>としての役目さえもおえません。地域にITに強い方のボランティアをつのり、IT寺子屋のようなものを週1or月2回など開催してみてもどうか。</p>	<p>など、端末の日常的な利活用を押し進めていきます。 (教育委員会生涯学習部、学校教育部)</p>
8	川俣 智 路	資料 4-1 (P19)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響 (仕事のこと)</p>	<p>約半数が通勤や勤務先の感染を心配している状況なので、特に子育て家庭においてはリモートワークをより利用しやすくなるよう、施策や企業への援助を実施してみようことを検討した方が良いのではないかと。</p>	

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意見	札幌市の考え方
9	大森 悠 平	資料 4-1 (P20～ 21)	新型コロ ナウイル ス感染症 の影響	アンケート調査の結果を拝見すると、やはりこのコロナ禍での子育ての難しさが見受けられました。感染症対策とのバランスを取りながら、お子様の遊び場の確保や、保護者の方々の交流の場・相談場所等を確保していくことが大切なのではないでしょうか。	<p>子育てサロンでは、コロナ対策のため自由来館は休止しておりましたが、子育てに関する悩み等の電話相談や状況に応じて対面による個別相談、オンラインによる子育てサロンを実施し、気軽にお話ができる機会を設けるなど、可能な限り本来の子育てサロンに近い取り組みを提供しご活用いただいたところです。今後もしやむを得ず自由来館を休止した場合には可能な限り本来の子育てサロンに近い取り組みを提供できるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、本市では、子どもの自主性・創造性・協調性を育むことを目的に、地域住民等が公園等において開催・運営する「プレーパーク」を推進しております。プレーパークは、比較的感染リスクが低いとされる屋外で実施するものであり、コロナ禍でも子どもが伸び伸びと活動できるものとなっております。今後も適切な感染症対策を講じながら、子</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
					<p>子どもが身近な公園等でプレーパークに参加することができるよう、認知度向上及び担い手の育成を図っていきたいと考えております。</p> <p>(子ども未来局子育て支援部、子ども育成部)</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
10	五十鈴 理 佳	資料4- 1、資料6	子どもを 生み育て やすい環 境、ヤン グケアラ ー	<p>主任児童委員だけではなく、13年間学びのサポーターとして地域の小学校に関わり、又月に2回地域子育てサロンを開いています。困りごとを抱えた子ども達や家庭をいち早く把握し一緒に考えながら、必要な支援・関係機関につなげることが、同じまちで生活している私達民生委員ができる活動です。子育てサロンで知り合った子ども達が小・中・高校大学・就職などと世界を広げ、保護者さんと共に成長を喜び合う、様々な問題や悩みを打ちあけていただけるには、ゆっくり時間をかけて・・・が必要ですし、専門的な話は行政など関係機関との連携を大切にしています。問題が大きくなる前に（虐待・不登校・問題行動の悩み・生活が苦しい・・・）気がつくことができれば、という気持ちを常にもっています。声かけや温かな眼差しが、地域ぐるみで子ども達と家庭を守り育て、安心して暮らせるまちを作っていけるのだと考えています。「ヤングケアラー」に関してですが、長年関わっている家庭は長男長女が小・中学校をほとんど登校せず、下の妹4名の世話で家に。母親の育児放棄気味・体調不良・夫との不仲など理由は様々ですが、母が喜んでくれる・家の役に立っている・登校しても友達がいない、と家の手伝いをしたがるように（時間が経つにつれ、それが当たり前の生活になる）。もちろん児童相談所・関係機関とのケース会議を何度も何度も行ないながらでしたが、、、母は色々と困っていることを話してくれるのですが、行政（お役所）は嫌い</p>	<p>子育てサロンでは、コロナ対策のため自由来館は休止しておりましたが、子育てに関する悩み等の電話相談や状況に応じて対面による個別相談、オンラインによる子育てサロンを実施し、気軽にお話ができる機会を設けるなど、可能な限り本来の子育てサロンに近い取り組みを提供しご活用いただいたところです。</p> <p>また、行政が提供する子育て支援サービスの利用に消極的（ハードルが高い、ちょっと話を聞いて欲しいだけ等）で社会的に孤立した子育て世帯に対して、地域の方々が訪問を行い、傾聴や協働を行っていく家庭訪問型子育て支援事業を令和4年1月から試行実施をする予定です。</p> <p>今後、試行実施の状況を踏まえながら札幌市内での展開を検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来局子育て支援部）</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
				<p>と。今後も何かあってからでは遅いのです、と児童相談所に伝え続けていくしかありません。</p> <p>このケースが「ヤングケアラー」なのかはともかく、困っているその時に専門の方々が動いてくれることを心からお願いしたい。子ども達は待たないで成長します。ただ、私達は家庭が見えなくなってしまうのは応援のしようもなくなってしまうのです。新型コロナウイルス感染拡大により、この1年半社会が大きく変わってしまいました。一番弱い者達へ苦しさ辛さが集中しています。出産前から孤独で、産んでからはもっと酷いのです、と話してくれる若い母親・子育てサロンが中止続きでふさぎ込む親御さん・仕事なくなった夫と子どもへの不満と不安・出かけられないためゲームばかりの毎日でおかしくなりそうだ、などなど。数字に表れない家庭や子ども達の辛さを具体的にどう解決していくのか。地域資源となっている私達民生委員主任児童委員を上手に活用していただきたいです。私も「札幌市子ども・子育て会議」を通し、子育てと生活応援・地域福祉の学びを深めていきたいと考えています。</p>	
11	正岡 経子	資料 4-1 関係	第4次さっぽろ子ども未来プラン令和2年度	<p>令和元年度に「令和元年度6月死亡事例に係る検証報告書」が発出され、課題を踏まえた提言が示されました。令和2年度実施状況報告書の中に、この提言を踏まえた実施状況が一部でも示されると思っておりました。第3次札幌市児童相談体制強化プランの取り組み・評価の中で提示されるものと推察します</p>	

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
			の実施状況報告	が、さっぽろ子ども未来プランの基本目標および基本施策とリンクする提言は多いと考えます。一人の子どもの命が亡くなり、その検証から出された課題に取り組む「実践」こそが同様の事例を繰り返さないことにつながると思います。	
12	星 信子	資料 4-1 関係	第4次さ っぽろ子 ども未来 プランの 成果指標 の設定	成果指標の達成状況を具体的な調査結果により評価しておられますが、基本施策と成果指標の間に少々乖離がある項目が一部あるように感じました。例として、「基本目標3 子どもと若者の成長と自立を支える環境の充実」の指標のひとつが、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している子どもの割合」となっているなどです。長期的、もしくは総合的な評価としてはこのような項目も良いかもしれませんが、基本施策に基づいて実際に取り組んだ事業の効果を毎年評価するのであれば、もう少し具体的に達成状況を評価できるような項目を追加しても良いように思います。	
13	林 亜紀 子	資料 4-2 (P22～ 23)	No. 53 (再 掲 No. 72) 「初妊婦 訪問事 業」	初妊婦訪問事業の成果指標「実施率」は全初妊婦に対する訪問に応じた妊婦の割合でよかったですでしょうか。訪問に応じない・訪問を断る妊婦がいます。彼女らにこそ相談ニーズがあります。スティグマによって相談に背を向けてしまう、内向きに自分だけでどうにかしようと考えてしまうお母さんにこそ助けが必要です。自尊心を傷つけない支え方が必要だという視点に立って有効なアプローチを検討し、事業を継続・拡充していただきたいといます。	初妊婦訪問事業の「実施率」の考え方はお見込みのとおりです。訪問等を希望しない方が躊躇せずに困りごとを相談できるよう、様々な困難等による背景に考慮し、信頼関係を築いた支援を継続してまいります。 (保健福祉局保健所)

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
14	林 亜紀 子	資料 4-2 (P50～ 51)	No. 141 「札幌市 奨学金支 給事業」	支給型の奨学金を拡充する必要はないでしょうか。就学援助対象見込み児童生徒が1万7千人ほどいるのに、奨学金採用人数はその10分の1にも満たない。これは妥当なのでしょうか。予算から採用人数を割り出すのではなく必要とする児童生徒数から予算を導き出して拡充していただきたいと思います。	本市では、令和2年度に採用者数を200名増員するなど、拡充に努めてきたところですが、財源が限られる中で、毎回定員を超える応募がある状況です。今後も、奨学金を必要とする方に一人でも多く受けていただけるよう努めてまいります。 (教育委員会学校教育部)

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意見	札幌市の考え方
15	林 亜紀 子	資料 4-2 (P60～ 61)	No. 169 「放課後 クラブの 過密化の 解消」	<p>放課後児童クラブが過密化している小学校区は「0」、また、別の調査で本市の放課後児童クラブの待機児童数もゼロとされています。放課後児童クラブの専用区画面積と定員について申し上げます。放課後児童クラブの設備運営基準における面積の基準は、「児童1人当たり1.65㎡」ですが、これは保育園の3歳以上児の1.98㎡に比べてもまだ狭く、定員まで受け入れれば過密状態になってしまい、とくにコロナ禍下で、子どもたちを守る基準とはいえません。国で参酌化されましたが札幌市では下げずに堅持していただいていることは良いのですが、さらに、札幌市として、基準を引き上げる必要がないかどうかもゆくゆくは検討していただきたく思います。</p> <p>児童クラブでは、「放課後等専用区画」を設けて、過密化を解消しているとされています。児童会館では体育室に敷くマットの面積、ミニ児童会館では小学校内の余裕教室等を借り受けていると伺っています。それらの「放課後等専用区画」を、児童クラブの児童は生活の場としてどのように活用できているのでしょうか。そこに生活する子どもたちは、放課後等専用区画も専用区画も同じように自分たちが生活する場として自由に使えているのでしょうか。マットを敷いている時間には、体育室を体育室として活用することは制限されることとなります。小学校内の余裕教室も、使えるときと使えないときもあると聞いています。放課後児童クラブの面積としてカウントするのは「専用区画」のみとするべきだと考えます。一時的には利用で</p>	

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意見	札幌市の考え方
				<p>きても継続してそこを生活の場として利用はできない制限のある「放課後等専用区画」を、生活の場としての面積にカウントすれば、定員内だとして入所している児童のための生活の場が、あるときは用意され、あるときは消滅している、ということになります。その実態を評価し直し、「専用区画」のみで計算した「定員」を設けそれを守ることが、子どもたちの放課後の育ちを護るために必要です。そして定員以上の受け入れの実態をしっかり捉えることが、子どもたちの放課後の生活の質を確保するために必要です。</p> <p>小学校の6年間の成長はあっという間です。1年生と6年生の違いをみて明らかのように、この変貌を遂げる間の環境の大切さは自明です。放課後や長期休みに放課後児童クラブで子どもが過ごす時間は、学校で過ごす時間よりも長いのです。その時間に、心と体を開放して伸び伸びとできる環境を一刻も早く札幌の小学生に対して調えることが、札幌の未来を支えると考えます。</p>	

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
16	大森 悠 平	資料 4-3 (P2)	「教育・ 保育」の 需給状況	1号・2号・3号の認定区分しかございませんが、新2号認定(新3号認定)も加えていただけますと、より正確なニーズの把握ができるのではないのでしょうか。	教育・保育の需給計画に関して国が定めた基本指針では、保育ニーズについて、子ども・子育て支援法第19条第1項第1号～3号の区分(いわゆる1～3号認定)ごとに必要量を定めることを基本とされていることから、基本指針に基づいた形のご報告としておりますが、多様な保育ニーズの実態について、できる限りわかりやすいご報告となるよう、記載方法を検討してまいります。 (子ども未来局支援制度担当部)
17	藪 淳一	資料 4-3 (P2)	「教育・ 保育」の 需給状況	「量の見込み」に関するニーズ調査ですが、「2号(学校教育利用希望)」「2号(学校教育利用希望以外)」という区分けに少し違和感を覚えます。これは、認定こども園希望か保育所希望かを調べたいということなのでしょうが、フルタイムの就労でも一時預かり事業を利用すれば1号で幼稚園や認定こども園に在籍可能な場合も多いですし、保育所でもきちんとした教育を実施しているところも多いです。例えば、具体的な施設形態を示して、幼稚園または認定こども園1号希望、認定こども園2号希望、保育所2号希望という選択肢にした方が、より現実に即したニーズを把握できるように思います。	教育・保育の需給計画策定時に実施した保育ニーズ調査では、回答者の世帯状況を踏まえた上で、各世帯の保育所や幼稚園等の具体的な利用希望を確認し、その結果を、国の基本指針や手引きに基づき、1号、2号(学校教育利用希望が強い方とそれ以外)、3号に区分して集計しております。引き続き、国の基本指針等との整合性を考慮しながら、保育

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	委員名	資料番号 (頁)	項目	意 見	札幌市の考え方
					<p>ニーズの把握に努め、できる限りわかりやすいご報告となるよう、記載方法を検討してまいります。</p> <p>(子ども未来局支援制度担当部)</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

報告 各部会の決議状況（児童福祉部会）

(1) 質問及び市担当部からの回答

なし

(2) 意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	札幌市の考え方
1	齋藤 優 希	資料6	ヤングケ アラー	<p>児童福祉部会にて審議されておりました「ヤングケアラー」に関することは、昨今非常に関心の集まっている問題でもあります。子どもの権利についても直結する内容であるため、今後更に調査・審議を重ね、また痛ましい事件が起きてしまう前に、いち早く対策を講じていければと考えます。</p> <p>個人的には親の離死別によるひとり親家庭に多い傾向があると感じています。新型コロナによって更に家庭内の状況が見えづらくなり、もっと学校や地域で子どもの変化に対して敏感に気づき見つけてあげない限り、あらゆる支援を提案すらできません。しかしながら、特に学校では先生方の業務が多忙すぎて、ヤングケアラーを背負わされるような比較的良い子とされる、聞き分けの良い、おとなしい子にはあまり問題を見出せない気がしています。可能ならば、学校に地域から学習サポーターをもっと採用するなど、先生の業務に余力を持たせることや、他の大人の視点から子ど</p>	<p>本市では、学校現場で働く教員が自らの力を十分に発揮し、ヤングケアラーへの気づきを含め、児童生徒と向き合い、質の高い教育活動を行うことができる環境を整備するため、教員以外が担うことができる業務については外部人材を活用するなど、教員の負担軽減に資する様々な取組を進めております。</p> <p>また、学校以外の相談先としましては、本市がいじめ電話相談窓口（少年相談室）を設置しているほか、相談窓口周知カードを配布するなどして、不安や悩みを抱えた児童生徒が、24時間電話相談等の様々な窓口においていつでも相談することができるような体制を整えております。</p> <p>今後も、教員の負担軽減に向けた実効性ある取組を推進し、教員が教育活動により集中できる環境を整備してまいります。</p>

令和3年度第2回札幌市子ども・子育て会議 委員からの質問・意見

通し 番号	質問者	資料番号 (頁)	項目	質問内容	札幌市の考え方
				もたちを見ること、先生以外にも相談相手となる安全な大人がいるといった対策が必要ではないでしょうか。	(教育委員会学校教育部)
2	深澤 梨 恵	資料6	・ヤング ケアラー ・死亡事 案	<p>札幌子育て情報サイトにて、ヤングケアラーや、令和3年6月死亡事件に関して、専門家(委員会)でどんなことが議論され、今後、札幌市としてどんなケアをしていくかなど、(ある意味堅苦しくなく)地域として、イチ子どもの親(子育て世代が)として、関わっていけるかなど、記事化できるものが多いのではないかと感じる。</p> <p>身近に起こっている問題(いじめの問題などもふくむ)などについても他人の問題ではなく、地域やまち、隣のあの子、自分の子どもに置き換え考えるきっかけの情報発信は“街”としてあってほしい。また自分ごととして考える人が増えて欲しいと感じる。</p>	